

京都府知事 山田 啓二 様

府域における大雨被害に関する緊急の申し入れ

2006年7月21日
日本共産党京都府議会議員団
団長 松尾 孝

大雨による被害での復旧および被災者への支援に対し、貴職および府職員のご奮に敬意を表します。

日本共産党府議会議員団は、19日に現地調査を行い、記録的な大雨で同日未明に土砂崩れを起こし、2人が生き埋めになっている京丹後市丹後町間人地区の理場と現地対策本部が置かれている丹後地域公民館などを訪ね、避難を続ける住民や救出活動にあたる消防署員や団員のみなさん、行政関係者らから災害と救助活動の状況をお聞きました。

さらに、被災された市町の党議員と連携し、被害の実態掌握と支援を強めています。

現地の住民の不安や要望を踏まえて、現時点での被災者への支援等について下記のとおり申し入れます。

記

以上

- 1、間人の被災現場の救出活動については、行方不明者の救出に全力をあげるとともに、被害の拡大を防ぎ、京丹後市と連携し避難者への支援に力を尽くすこと。
- 2、今後とも大量の降雨が予測される。府内の急傾斜地など危険地域の総点検を行うこと。
- 3、間人の災害は、府の土砂災害監視システムの指示と京丹後市の判断が異なり、結果的に避難勧告や指示の発動を行わなかったことが大きな問題になっている。今後の災害に、同じようなことが起こらぬよう、再度、府内土木事務所および関係市町村災害対策本部等に対し、判断基準の徹底を行うこと。
- 4、農業や観光・商業などの被害を緊急に調査し、支援の対策を急ぐとともに、観光シーズンを前に、道路復旧を迅速に行うこと。

以上